



げん だいじょうもん げいじゅつ ぶ
現代縄文芸術に触れられるのは世界でもココしかない!

猪風来美術館は縄文野焼き技法の第一人者として知られる縄文造形作家、猪風来の代表作をはじめとした現代縄文芸術を展示する日本唯一の美術館として、2005年に旧法曾小学校跡地に開館しました。

縄文造形は1万5千年前に姿を現した最も古い芸術で、縄文の心と根源的な生命が織り成す、魂の表現は「縄文スピリット」として、世界中で注目されはじめています。

また地元法曾に伝わる法曾焼を復活させ、縄文造形と融合による新たな縄文法曾陶も生み出しています。

それらの作品を、生命の根源や喜怒哀楽、森羅万象など5つのテーマに分類し常設展示しています。

◆ 施設のおすすめ

当館では、縄文造形や、縄文スパイラル、法曾焼を見るだけでなくそこで得た発想を元に、自らが作成することのできる「陶芸体験学習創作館」があり、陶芸教室を(A 縄文野焼きコース・B電気窯コース)随時開催しています。

春と秋には「縄文野焼き祭り」が開催され、縄文時代と同じ技法によって、縄文の器やオブジェを焼き上げ、作品に命を吹き込みます。

生命を形作る根源である火・風・水・土に触れ、縄文の心を体感することができます。

また、実際に縄文土器で煮炊きをしたり、勾玉作りや縄文土偶作りの体験コーナーなども企画しています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

1万5千年前に日本列島で生まれた縄文文化、縄文芸術は混迷する現代にあって、未来への祈りと希望を持った世界に誇る素晴らしいもので日本文化の宝です。

縄文造形、縄文芸術を見て、作って、先祖達の力強いエネルギーや豊穡な魂に触れることで、「縄文の心」を体感してもらえればと思います。



がいかん
外観の様子



てんじしつ
展示室の様子



とうげいたいけんがくしゅうそうさくかん
陶芸体験学習創作館



じょうもんしきたてあなじゅうきよ
縄文式竪穴住居



じょうもん どき ぶくげん
縄文土器(復元)



しゅくさい
いのちの祝祭



じょうもん
縄文の月